

和算叢書

利是

上巻

二叔²
708
75



門二 2
號
卷

利是前集

利是前集

利是前集

寺



今偽令の他月の利金を念也一年の利金
何程と云

昔曰金三兩

御日月の利金を疑或利粒ト云字と云
一年の月数計を云字と云
四除て或取得ん四云云

二

今云金七兩と云の他月の利十の金

今金宛りり九月の利息は何程と向

答曰今拾之高と答

御曰今金^{千両}以^{千両}並^{千両}千^{千両}と云^{千両}除^{千両}と高
幾^{千両}持^{千両}ん^{千両}故^{千両}と一^{千両}月^{千両}の^{千両}利^{千両}金^{千両}分^{千両}判^{千両}極^{千両}銭^{千両}
月^{千両}報^{千両}れ^{千両}銭^{千両}金^{千両}分^{千両}判^{千両}除^{千両}と^{千両}千^{千両}両^{千両}
幾^{千両}何^{千両}と^{千両}云^{千両}云^{千両}

三

今金六百二兩俤ん但月の利二兩為
今金分宛りり八月の利息は何程と

向

答曰五兩兩

御曰今金^{千両}と云^{千両}除^{千両}と高^{千両}
故^{千両}一^{千両}月^{千両}の^{千両}利^{千両}金^{千両}分^{千両}判^{千両}除^{千両}と^{千両}千^{千両}両^{千両}
幾^{千両}何^{千両}と^{千両}云^{千両}云^{千両}

四

今金七千両俤ん但月の利息
幾何と云

答曰十八兩と答

御曰一^{千両}月^{千両}の^{千両}利^{千両}金^{千両}分^{千両}判^{千両}除^{千両}と^{千両}千^{千両}両^{千両}
幾^{千両}何^{千両}と^{千両}云^{千両}云^{千両}

五

改行の刻十四兩五分より四両五分

今之金百拾五兩金を毎々月々月の利限
三ヶ月より六ヶ月の刻を以て約と向乃西幣

昔日振置を分以て下限を分以て下幣

則日二兩一ヶ月利限増と五月利限三

と半にして之を二兩六ヶ月の利限増

改行の之を百と云ふより利息限増

二と得ん實より限お増減を以て除く

金十四兩五分改行の内計を以て

改行の之を限の内計と云ふて改行して

十四兩五分二兩
一五兩五分二兩

六

今之金百と云ふ債改行の但之を月々金百

五兩債の二債半の利として之を年の利

半何ゆと向

昔日七十四債

則日二債金を年々月利二と云ふ十債

年々利の債と云ふより百五兩債を以て除く

之債の利の債改行の法より之を年々債

と云ふ法と云ふより之を以て債と云ふ同之を

七

今之金百と云ふ一ヶ月の利金を毎々二兩

刑四半の利息 二十五 改定 改定 分判小
 由 早 輕と得ん 年 月数 二十 と 除
 して 月 利息 七 と 一 粒の 金
二十 と 年 兩改定 得ん 同 金
 今一ヶ月の利息 五 兩 を 八 ヶ月の利
 金 年 兩取 は 金 何 粒 と 同

答曰 二百 三 粒 也

刑四八ヶ月の利息 年 改定 と 分 判
 由 控 改 は 月 数 は 除 一 月
 月の利息 二十 と 得 實 金 何 粒 は
 元金 二十 と 金 何 粒 は

同小分判

今一ヶ月の利息 一 兩 を 八 ヶ月の利
 金 年 兩取 は 金 何 粒 と 同

乃 あ 五 年
六 年

答曰 七 十 也

刑四一ヶ月一兩の利息 年 改定 と 分 判
 由 二十 と 金 何 粒 は 除 一 月
 月の利息 七 と 一 粒の 金
二十 と 年 兩改定 得ん 同 金
 今一ヶ月の利息 五 兩 を 八 ヶ月の利
 金 年 兩取 は 金 何 粒 と 同

又湖曰一年の利息を^{七百}儲と云ふは^{七百}儲
紫^{七百}と云ふは^{七百}儲と云ふは^{七百}儲
三百二と云ふは一年月数^{七十}と云ふは^{三百}儲
十^{七百}儲と云ふは^{七百}儲と云ふは^{七百}儲
と云ふは^{七百}儲と云ふは^{七百}儲
改^{七百}儲と云ふは^{七百}儲

十四
今金拾五兩を信^{七百}外二割^{七十}して利息は
銀^{七百}と云

是^{七百}白^{七百}と云ふ
湖曰^{七百}元金^{七十}と云ふは^{七百}儲と云ふは^{七百}儲
以^{七百}て^{七百}銀^{七十}と云ふは^{七百}儲と云ふは^{七百}儲

十五
今金百兩を信^{七百}外三割^{七十}して利息
は^{七百}銀^{七十}と云

是^{七百}白^{七百}と云ふ
湖曰^{七百}元金^{七十}と云ふは^{七百}儲と云ふは^{七百}儲
三^{七百}割^{七十}と云ふは^{七百}儲と云ふは^{七百}儲

十六
今金三兩を信^{七百}外三割^{七十}して利息は
銀^{七百}と云

是^{七百}白^{七百}と云ふ
湖曰^{七百}元金^{七十}と云ふは^{七百}儲と云ふは^{七百}儲
一^{七百}年^{七十}と云ふは^{七百}儲と云ふは^{七百}儲

かりり同申合書

十七

今升三割し利金早申有以元金
は純し向

若白百五拾兩

利白利金早申と正實し外三割し

法早申とし除く元金百五と得し

同申合書

十六

今派之費二百兩有外三割の利し
利限何れし向

若白三百六十兩

利白元銀百目と正し外三割の法

十九

今之金十六兩倍利金四兩取是内三割
割外し何割の利金し向

若白外し二割半又内し二割

利白利金早申と正し外三割の法

法早申とし除く元金百五と得し

利金百五とし外三割半

家元おのり右利金割合と正し元金

振兩身利金二兩五分高利元金

今之核取は改むる元金核ある
故に此利金改むる方と以^元利の和拾四兩
成方除く元利の和一兩ありの利
金永二百文改得る利内之割り
各同大分なり

少利白利金^改と元金核と
除く高利と^改利年二割中
定一と加く^改と^改外二
割中^改の法^改と除く^改と^改利内
二割と^改各同大分なり

二十

今之金二十兩 月金^改分^改利率
何程^改尚^改なり

昔白外^改寺^改割半

例曰一月を命^改元^改十二月の利金^改
と定^改元^改金^改二十と除^改く^改元^改金^改
を^改高^改一^改年^改の利^改金^改と^改得^改
外^改寺^改割^改半^改と^改同^改なり

二十一

今年外一割^改利率^改元^改月^改は^改元^改金^改
なり

元金^改元^改金^改元^改金^改元^改金^改元^改金^改

例曰一ヶ月金主を子宛に一年月数
計張りの金主を子宛に貸す以外
三割の両法。おとめて除く碎張
の同ふ金主

又例曰金主を子宛に貸す以外一割
の法を以て除くおとめて同ふ金主

今限以貴四百目と五ヶ月借部 利限
三百目と存は一年何割より高き高
き白外三割

例曰一ヶ月の利限を三ヶ月月数五改

今之采心半儀一年の利十儀と存は是六

以て除きて一ヶ月の利限除くは
一年月数計を以て算して借部と存
実より三限と存は以て算して
除く高きと存は利外三割より

又例曰利限除くは一年月数計十二改算
実より三限と存は以て算して借部と存
以て算して除く高きと存は
利外三割より同ふ金主

年々何割に商ふ

昔白外七割半

折曰一子此利本計と實を以て之を儲
と法を以て以て之を成除之を本を儲分
年々利。債を以て。外一割半を
何し金部

今久金百之拾五兩より一年之利金二十兩
と有ん是を以て月何兩身七金分の利
小商ふ

昔白二十兩身七金

例曰一年之利金計と重之為と
一月之金部宛
十二月の月 除く高子法と得ん法を以
之を金部宛と重之を法を以て除く
二十と得ん同金部

今元金百。八倍し一年之利二十七倍八ヶ月
何兩身金を令し利。商ふ

昔白十二兩身七金

此算類の例に物学を通了。利以て
元金百。八倍して元金百。八兩を元

利年二倍七倍と利金二十七兩と見て
別前條の同く等見く御法の手を
すこそ法たのこ

削白一年し利二十と並三兩一ヶ月の
二十ヶ月除く九以て元金百と除て
計とあり別十二兩を方と見同く又合あり

三十一

今元利百債三ヶ月の利年五倍五見と
月何兩を合當と見る

若白極多身事分

削白題前條より一ぬ之利之法を
又元利金高と見て削法便と見
ぬ

削白三ヶ月の利三と並月数三
以て除之三ヶ月の利三

一年三ヶ月数三と並一
利金計と解し三兩と以除く
六三と増し法と以て元金百
減除計と行同く合あり

少何の元来儲とて是て月数_三を
 宗_三の儲と得_一之而_二と宗_一
 九百_三と_一、宗_三の利来儲と_二と宗_一
 一年_三月数_二と_一、宗_三の儲と_二得_一法
 少何の宗と得_一、宗_三の利
 十日_三向_二宗_一、宗_三の利

